

学校経営

1 校訓

「 明るく 強く 豊かな心 」

2 学校教育目標

将来の自立と社会参加を目指すために、一人一人の可能性を伸ばし、明るく、強く、豊かな心をもつ児童生徒を育てる。

3 目指す児童生徒像

明るく元気な人 あきらめずに取り組む人 仲間を大切にする人

4 教育理念

児童生徒一人一人が主役として生き生きと輝き、将来の社会自立につながる進路の実現

- (1) 保護者が「我が子を入学させて良かった」と信頼を寄せる学校
- (2) 教職員がチームとして目的を一つにし、やりがいをもって働く学校
- (3) 地域のニーズに応じて関係機関と協働し、特別支援教育を推進する学校

5 目指す学校像

- (1) 今年度の重点目標

ア 安全教育と復興・防災教育の推進と児童生徒の心身の安全を守る体制の構築

イ いじめ防止対策組織を中核としたいじめの未然防止

ウ いわての授業づくり3つの視点に基づいた授業実践を基本とする教育的ニーズを踏まえた児童生徒の主体的な学びの実現

エ 学校間や居住地における交流教育の推進及び相互理解の向上

オ キャリア教育の推進と個々の能力と適性に応じた進路選択支援

カ 地域に必要とされる魅力ある学校づくりの推進

キ 不適切な指導を根絶する組織体制の構築

- (2) 取組方針

ア 安全・安心の保証

(ア) 学校立地状況を踏まえた児童生徒の安全を最優先とした安全管理体制の整備を進めるとともに、様々な体験活動を通して防災意識の醸成に取り組む。

(イ) 心身の健康を守る環境整備や、自らの健康意識を育てる学習を進める。

イ いじめ防止対策の推進

(ア) 他学部の児童生徒との交流を継続するとともに、全ての児童生徒が自己有用感や充実感を感じられる集団・授業づくりを目指し、集団の一員としての自覚や自信を育む。

(イ) いじめ防止基本方針に基づき、アンケートの実施や観察、面談等組織的対応を推進する。

ウ 学びの保証

- (ア) 教育的ニーズを踏まえた各種計画に基づき、児童生徒が主体的に学ぶ充実した教育活動を展開する。
- (イ) 教師の専門性の向上を図りながら、いわての授業づくり 3つの視点を基本とした実践を行い、児童生徒の実態に応じた支援の工夫や ICT 機器等の有効な教材を活用した学習活動を推進する。

エ 交流学習の推進

- (ア) 学校間交流や交流籍校交流を実施し、他校の児童生徒と一緒に活動する楽しさや期待感と、地域で生活する意識の向上やコミュニケーションの経験値を高めるとともに、同世代の特別支援教育への啓発や理解の促進を図る。

オ 進路の保証

- (ア) 社会的自立に向けて、児童生徒一人一人の能力・適性などを踏まえ、社会で求められる力が身に付くように将来を見通したキャリア教育を推進する。
- (イ) 個別の教育支援計画を活用して関係機関と連携を図りながら、希望進路の実現に向けて支援する。

カ 地域に開かれた学校づくり

- (ア) 地域の伝統文化や特色を生かした学習活動を展開し、地域で生活していく力の基礎づくりや地域貢献の意識を高める。
- (イ) 学校の取組や特別支援教育の動向について積極的に地域に発信するとともに、圏域における特別支援教育に関するニーズに応じた特別支援学校のセンター的機能の充実に努める。

キ 不適切な指導を根絶する組織体制の構築

- (ア) 教職員一人一人が児童生徒の人権を尊重した指導を実践するとともに、コンプライアンスを遵守する体制を確立する。

6 業務量管理・健康確保措置

- ・業務内容の効率化や適正化を進め、業務改善を図る。
- ・学校独自の様々な取組（M30、学部ごとの一斉定時退勤 等）を実施し、時間外在校時間の縮減を図る。